

ヒノキ板材からにじみ出る ヤニを抑制する技術を開発

背景

ヒノキ材は家具や建具、フローリングに使用されますが、製品として仕上げた後にヤニがにじみ出ることがありました。

成果の内容

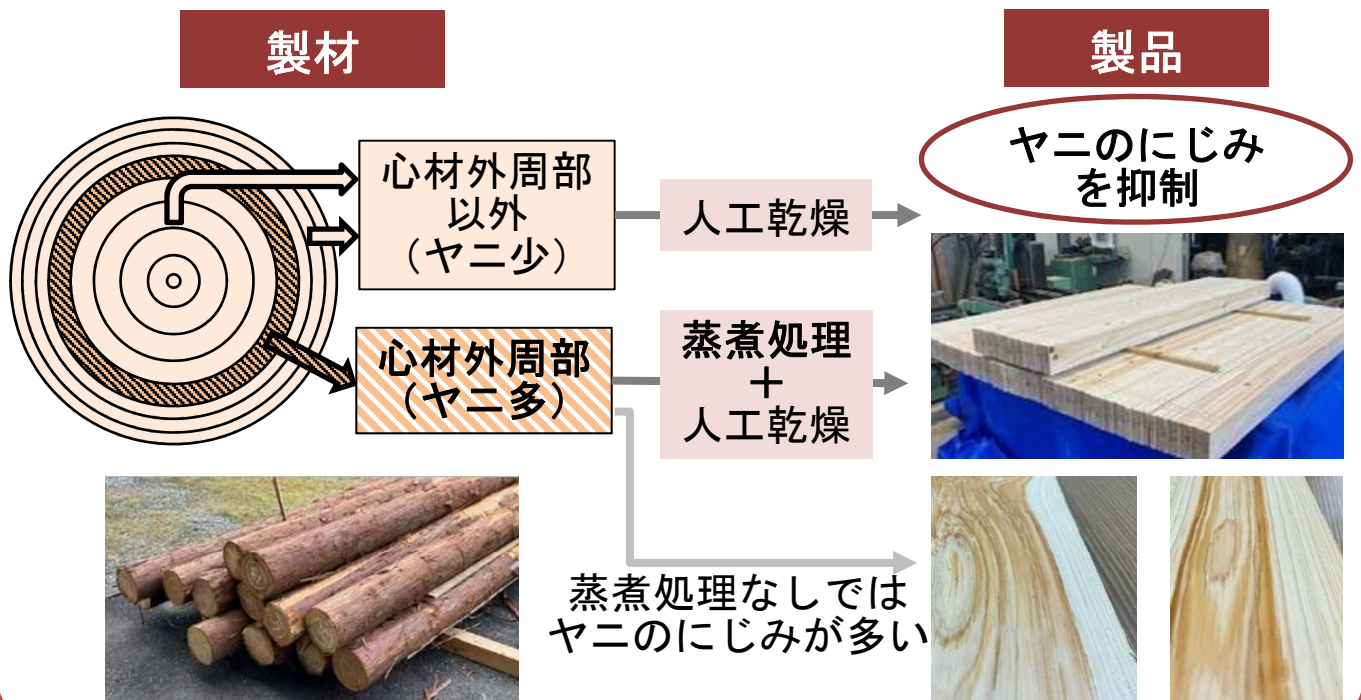
ヤニが出やすい部位の特定と、ヤニの出やすい部位を含む製品からのにじみを高温の水蒸気で加熱して抑える「蒸煮（じょうしゃ）処理」を開発しました。

(1) ヤニが出やすい部位の特定

ヤニの多くが心材外周部からにじみ出てくることを解明。

(2) ヤニのにじみを抑えることのできる「蒸煮処理」を開発

心材外周部を含む製品には、人工乾燥前に温度85°Cの水蒸気で6時間加熱する蒸煮処理を行うと、ヤニのにじみが少なくなる。



【研究部のコメント】

○利用期を迎えたヒノキが増加する中、この技術によって需要が拡大することを願っています。

森林林業部 森林資源活用チーム)